

エコアクション21 環境経営レポート



対象期間 令和5年4月～令和6年3月
発行日 令和6年11月1日

倫理要綱に基づき、誠実に業務を遂行します。

(一財) 全国危険物安全協会認定
(一社) 日本溶接協会C I W認定
第三者受入検査機関

 **沖縄工業検査株式会社**

〒904-2426 沖縄県うるま市与那城平安座8148番地1

TEL : 098-977-8309 FAX : 098-983-1013

E-Mail : info@okikoken.co.jp URL : <https://okikoken.co.jp>



1 事業者活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

沖縄工業検査株式会社
代表取締役 糸満 盛史

(2) 所在地

〒904-2426
沖縄県うるま市与那城平安座8148番地 1

(3) 環境マネジメントシステムの責任者

管理責任者 代表取締役 糸満 盛史
連絡担当者 総務部長 比嘉 直輝

(4) 連絡先

TEL 098-977-8309 FAX 098-983-1013
E-Mail : info@okikoken.co.jp
URL : https://okikoken.co.jp

(5) 事業の内容

溶接構造物・コンクリート構造物の非破壊検査
溶接構造物非破壊検査事業者認定 認定番号 158D09号
危険物施設等定期点検事業者認定 地(8),移(7)第47001号
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日

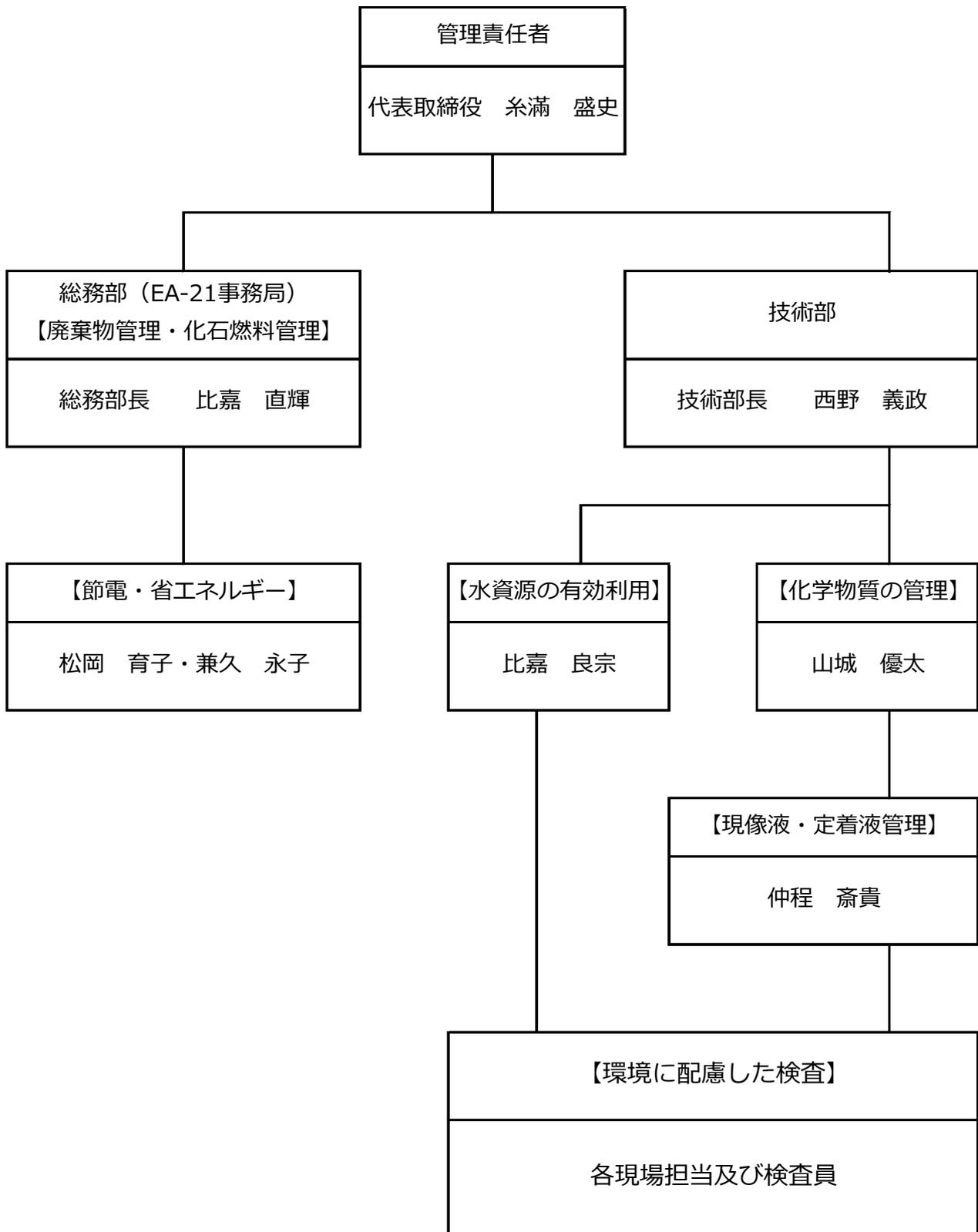
(7) 対象範囲

対象期間 全組織、全活動

(8) 事業の規模

活動規模	単位	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
売上高	百万円	316	351	319	340	287	306	247
従業員数	人	43	43	44	41	37	33	33
事務所 床面積	m ²	576	576	576	576	576	576	576

2 実施体制組織図



3 環境経営方針

当社は、企業活動において生じる環境負荷を全従業員(役員含む)が認識し、その抑制に向けて強い意識を保ちながら自然環境と限りある資源の保全に努め、地域と共に発展する企業の実現へと邁進します。

行動目標

地球環境保護のため、下記の事項について継続的に取り組みます。

また、必要に応じて改善に努めます。

- (1) 環境に関する法規制を遵守します。
- (2) 電力、燃料使用量削減による二酸化炭素の排出量の削減に取り組みます。
- (3) 雨水の活用などにより節水に取り組みます。
- (4) 環境に配慮して業務を行います。
- (5) 廃棄物削減に努めます。
- (6) 化学物質を適正に管理します。
- (7) 地域の環境保全活動を積極的に行います。

改訂日 令和4年6月1日
沖縄工業検査株式会社
代表取締役 糸満 盛史

4 環境経営目標とその実績

(1) 当社は石油備蓄基地、電力施設及び石油化学プラント等の非破壊検査業務を主に行っております。業務における投入資源は、自動車燃料、事業所の電気、上水による水資源及び報告書等に使用するコピー用紙であります。したがって、二酸化炭素排出量、水資源投入量、廃棄物排出量の削減及び事務用品、備品のグリーン購入、化学物質の適正管理等の環境配慮を目標設定とします。

〈中長期目標〉

- ① 二酸化炭素排出量を令和3年度を基準に毎年1%の削減に努めます
- ② 水資源投入量を令和3年度を基準に毎年1%の削減に努めます
- ③ 廃棄物排出量を令和3年度の実績より毎年1%の削減に努めます
- ④ 化学物質使用量を適正に管理します
- ⑤ 環境に配慮した検査を行います

(2) 令和5年度実績

実施年度	項目	①二酸化炭素 排出量(kg-CO2)		②水資源投入量 (m ³)		③廃棄物排出量 (ton)		④化学物質適正管理	
								ほう酸 (ℓ)	ヒドロキノン(ℓ)
	基準値	63,098.24		474		2.06			
令和3年度	目標	61,997.05		366		1.11			
	実績	63,098.24	102%	474	130%	2.06	186%	※PRTR該当しない	1.93
令和4年度	目標	62,467.26		469		2.04		-	-
	実績	60,921.63	98%	345	74%	1.61	79%		1.44
令和5年度	目標	61,836.28		465		2.02		-	-
	実績	58,458.30	95%	429	92%	1.64	81%		1.59
令和6年度	目標	61,205.29				2.00		-	-
	実績	-	- %	-	- %	-	- %		
令和7年度	目標	60,574.31		455		1.98		-	-
	実績	-	- %	-	- %	-	- %		
令和8年度	目標	59,943.33		450		1.96		-	-
	実績	-	- %	-	- %	-	- %		
⑤環境に配慮した検査を行います。 (環境に配慮し、検査後周囲の清掃、ゴミ等は客先の指示により処分)									

※産廃のレントゲン用定着液及び現像液は、検査の品質に影響があるために定期的に取り替える必要があり、7~8ヶ月ごとに処分します。

※購入電力の排出係数=0.787kg-CO2/kWh (令和3年度の調整後排出係数)

5 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1 環境関連法規への遵守状況は次の通りである。

令和6年11月1日

確認者 (糸満 盛史)

主な適用法規	適用内容又は遵守すべき項目	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	資格を持った業者（収集運搬業者及び処分業者）との委託契約マニフェストの管理徹底	○
消防法	消防設備の設置・点検	○
労働安全衛生法	健康診断の実施、SDS交付義務対象物質に対するリスクアセスメント	○
浄化槽法	排水処理の適合	○
化学物質排出把握管理促進法	対象事業所は届出が必要（PRTR） 使用量の把握（PRTR）	○
フロン排出抑制法	適正管理委託確認書（廃棄時）、引渡証明書の受理（写しの保管）	○

2 環境関連法規制の違反、訴訟等の有無

- ・ 環境関連法規に関する違反・訴訟はありません
- ・ 関係当局への違反等は過去ありません
- ・ 外部からの苦情、要望等はありません

6 主要な環境経営活動計画

令和5年度

主要項目		活動計画の内容
①二酸化炭素排出量削減	電力の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンの管理（冷房26-28℃、暖房使用しない） ・ 室内不在時、昼休み消灯の徹底 （自然採光、ブラインドの工夫） ・ 検査装置、電動工具等を点検修理を行い、適切な状態を保つ
	自動車燃料の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・ E C Oドライブ周知による燃費向上 ・ アイドリング禁止 ・ 急発進／急加速禁止 ・ 車両適正整備 ・ タイヤ空気圧の適正化 ・ 低燃費車両導入
②水資源投入量削減	節水	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水回りに節水を呼び掛ける表示 ・ 洗車および洗濯などは雨水を活用
③廃棄物排出量削減	一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分別の徹底でリサイクル処理（ペットボトル）
	産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄、金属類は分別を徹底し業者にて有価物として売却 ・ X線検査用定着液、現像液は関係法令により業者にて処理 （※X線用鉛箔増感紙についても業者にて処理）
	紙資源投入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社内資料の両面印刷または電子化を徹底 ・ リサイクル業者にて処理（分別して有価物として売却） ・ ペーパーレス推進（電子文書化） ・ ミスコピーの防止
④化学物質使用量		<ul style="list-style-type: none"> ・ 化学物質の使用量や購入量の記録、化学物質を廃棄処理する際に頂くマニフェストをファイルし管理する
⑤環境に配慮した検査		<ul style="list-style-type: none"> ・ 現場の環境に配慮し、検査後周囲の清掃、ゴミの持ち帰りを推進する（客先の指示による処分）

7 環境活動の取組結果の評価及び次年度の取組内容

取組項目	評価	コメント	今後（次年度）の取組内容	
① 二酸化炭素排出量	エアコンの管理	○	エアコンの温度管理を徹底（26～28℃） 猛暑以外は外気を取入れエアコンを使用しない等工夫した	継続
	室内不在時、昼休み消灯の徹底	○	使用していない部屋の電気消灯を徹底	継続
	検査装置、電動工具を点検修理を行い、適切な状態を保つ	○	このまま維持	継続
	E C Oドライブ周知による燃費向上	○	このまま維持	継続
	アイドリング禁止・急発進／急加速禁止	○	このまま維持	継続
	車両適正整備・タイヤ空気圧の適正化	○	このまま維持	継続
	低燃費車両導入	○	このまま維持	継続
② 水資源投入量	水回りに節水を呼び掛ける文章を掲示	○	このまま維持	継続
	洗車は雨水を利用	○	洗車時に雨水を使用	継続
	一人一人が節水を心掛ける	○	このまま維持	継続
③ 廃棄物排出量	一般廃棄物分別の徹底	○	分別を行い、契約業者にて処分	継続
	リサイクル業者にて処理（分別して有価物として売却）	○	不要な段ボールはリサイクル業者に売却している	継続
	ペーパーレス推進（電子文書化）	○	ペーパーレス推進を呼びかけている	継続
④ 化学物質	化学物質の使用量や購入量の記録、化学物質を廃棄処理する際に頂くマニフェストをファイル管理	○	工事量によって化学物質の使用量や購入量が増減するので削減は難しいが、廃棄処理をした際に頂くマニフェストを管理	継続
⑤ 環境配慮	現場の環境に配慮し、検査後周囲の清掃、ゴミの持ち帰りを推進（客先の指示による処分）	○	社員一人一人が清掃するよう徹底	継続

8 代表者による全体の見直し

当社は、環境経営目標として令和3年度を基準とした①二酸化炭素排出量・②水資源投入量・③廃棄物排出量の各項目における毎年1%削減を中長期目標に掲げている。

そのような中で①二酸化炭素排出量については、令和4年度2%、令和5年度5%の削減となった。②水資源排出量は、令和4年26%、令和5年7%及び③廃棄物排出量については令和4年21%、令和5年20%減となった。

結果を元に削減要因を考えると業績不振に伴う稼働率の減少が一因であり、また極力、相乗り等の自助努力を継続していることによる二酸化炭素排出量の減少もあげられる。また、②・③については、EA-21事務局（総務部長）による月1全体会議での繰り返し注意喚起による従業員の意識の変化が徐々に現れてきていると思われる。

なお、前年度は、目標の各排出量削減1%を達成してはいるが、環境負荷削減を単年度の一過性とせず、永遠の課題として捉え、全従業員への環境経営目標を発信し続け、一層の環境への負荷低減を周知徹底せねばならない。

令和6年11月1日

沖縄工業検査株式会社

代表取締役 糸満 盛史